



令和2年12月24日

学校だより

射水市立作道小学校

190号

2学期のチャレンジ（成長）を紹介！

早いもので、まもなく令和2年が終わろうとしています。今学期も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力のお陰で、制約が多い中ではありますが充実した教育活動を行うことができ、本当にありがとうございました。

さて、今学期も「みんなが笑顔で学び合える楽しい学校」を目指し、「『自分からチャンス・チャレンジ・チェンジ』を合言葉に自分の力を高めましょう」と投げかけてスタートしました。今日の終業式では、私が捉えた各学年のチェンジ（成長）をテレビ放送で紹介しました。

<1年生>

お話を聞くことが上手になりました。担任の先生がお話される時は、しっかりと口を閉じて聞いていました。しゃべりたいことがあっても、「今は聞くときだから我慢しよう」と、自分に言い聞かせ、自分で自分のブレーキをかけられるようになったという証拠です。お話を聞くことは、学習の基本中の基本です。これができるとお勉強がよく分かるようになりますよ。是非、これからは「キクゾウ君の耳」でしっかり聞いてくださいね。



〈教科書を手に音読する1年生〉

<2年生>



「地域のじまん」をたくさん見付けました。学年全員で取り組んだ町たんけんを活かし、2～4人のグループに分かれ、放課後に自分たちの住む町のじまんを見付けに出かけました。家の人にも協力してもらいながらインタビューもがんばりましたね。2年生が自分たちで調べるだけでもすごいことですが、皆さんは新聞にまとめて発表もしましたね。写真も入っていて、じまんポイントが大変分かりやすくて感心しました。これからも、地域のよさをいっぱい見付けてください。

〈新聞を示しながら発表する2年生〉

<3年生>

射水市に詳しくなりました。射水市全体を周る校外学習や消防署見学では、自分の目で見たり、耳で聞いたりしたことを一生懸命ワークシートに書き込む姿に感心しました。中には、担任の先生に指示される前に自分からメモを始める子供も見られ、大きな成長を感じました。「見たい、聞きたい、知りたい」と思う気持ちのことを「好奇心」と言います。好奇心をいっぱいもっている自分をこれからも大切にしてください。



〈救急車の説明を受ける3年生〉

< 4年生 >



〈環境ポスターを掲示する4年生〉

自分たちで課題を見付ける力が伸びました。国語科の「ごんぎつね」や総合的な学習の時間の環境問題についての学習では、自分たちで疑問を出し合い、学習課題を立てて話し合ったり、調べたりしました。学級内の課題も見付け、自分たちで解決しようと努めています。環境問題と同様、「言うは易し、行うは難し」ですが、できることから一歩ずつ進めるしかありません。皆さんの行動に移す力（実践力）に期待しています。

< 5年生 >

相手の立場に立って考える力が伸びました。ブラインドサッカーの体験活動やパラリンピックについての調査活動等を通して、間接的ではありますが、身体にハンディキャップを抱えながらもスポーツを楽しむ、前向きに生きる人々の姿に触れました。呉羽青少年自然の家での野外活動で仲間との絆を深められたのも、この「相手の立場に立って考える力」を活かし、一人一人が自分の役割を果たそうと努めたからこそだと思います。最高学年まで3か月。ますます高学年としての自覚を高め、自分を鍛えていきましょう。



〈ブラインドサッカーを体験する5年生〉

< 6年生 >



〈6年生が企画・運営した「わくわく昼休みの様子」〉

学校のリーダーとしての自覚が高まりました。ミニ運動会をはじめ、「わくわく昼休み」や「チャレンジタイム（長縄8の字跳び）」「縦割り清掃」において、団やグループのみんなで力を合わせられるように、下級生にやさしく声をかけ、リードしました。以前に皆さんに味わって欲しいとお話した「誰かのために役に立つ喜び」は既に味わえたでしょうか。人は「自分のため」よりも「誰かのため」のときの方が、自分の力を発揮できることがあるから不思議です。是非これからも、そのような不思議な体験を積み重ねていってください。

年末年始は、大掃除をしたり、しめ飾りやおせち料理等を用意したりするなど、何かと気忙しいですが、反面、子供たちが日本の伝統文化に親しんだり、家族の一員として活躍したりするよい機会ともなります。今年は例年通りのことはできないかもしれませんが、「あったか家族の日（一緒に食事・おしゃべり・お手伝い）」が増え、子供たちが温かい気持ちで冬休みを過ごすことができればと思います。

皆さん、感染予防に留意されつつ、よいお年をお迎えください。

初雪に大喜び

昨年は雪のない冬でしたので、子供たちにとっては待ちに待った雪です。早速、グラウンドで雪の感触を楽しむ子供たちの姿に心が和みます。今年は雪国に育ったよさを存分に味わうことができそうです。ただ、登下校には時間がかかるようになりました。「いつも以上に安全に気を付ける」「雪で遊んで遅くならない」「班の人を寒い中で待たせない」などについて、ご家庭でも声をかけてくださるようお願いいたします。

※ホームページでは、本稿をはじめ、子供たちの様子をカラーでご覧いただけます。